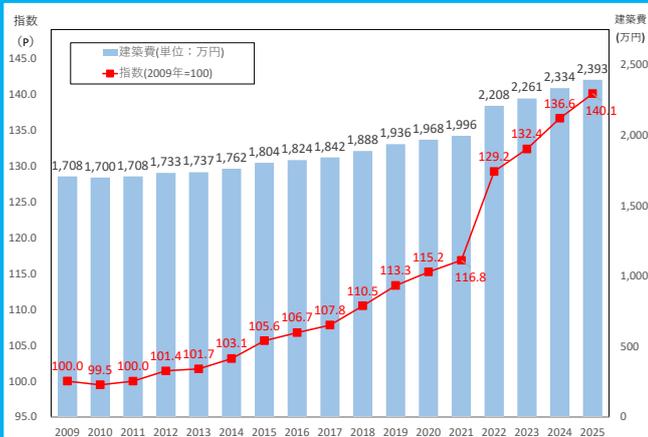


# 『木造住宅建築費指数』を新たに公開します

～2009年以降の新築木造住宅の建築費推移を可視化～

一般財団法人経済調査会（本部：東京都港区、理事長：森北佳昭）は、過去17年間の木造住宅建築費用の推移を指数化した「木造住宅建築費指数」を、当会ホームページ「積算資料ポケット版WEB」で5月20日より新たに公開いたします。本指数は、民間の木造戸建て注文住宅の新築工事費の動向を把握するための基礎データとなり、戸建て住宅の取引に関わる方の参考データとしてご活用いただくことを目的としています。

## 木造住宅建築費指数：2021年以降、木造住宅建築費は上昇傾向が鮮明に

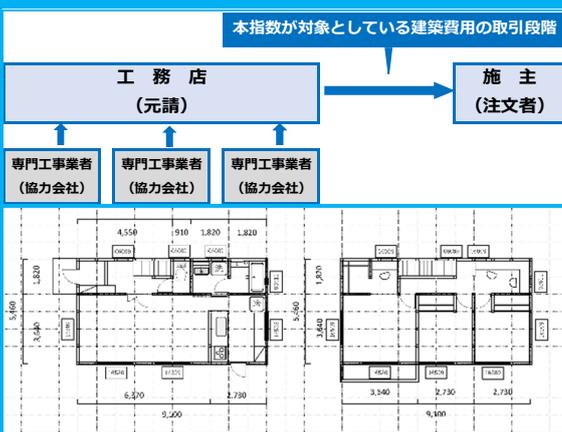


【概況】2009年に約1,708万円だった木造住宅建築費は、コロナ禍の2021年頃まで年1%程度の緩やかな上昇で安定的に推移した。しかし、コロナ禍の収束とともに資材価格が高騰。その影響が波及した2022年に建築費は10%超の急騰となり、以降も年2%超の伸びで推移し、最新2025年調査では2,393万円で過去最高となっている。2009年を100とした木造住宅建築費指数でみると、2021年が116.8であったのに対し、2022年は129.2に急伸。以後も右肩上がり推移し2025年は140.1に達した。この4年間の上昇幅は23.3で、コロナ禍を境に建築費の上昇傾向が鮮明になっている。

詳細は「木造住宅建築費指数」公開サイト【積算資料ポケット版WEB】をご参照ください。  
<右記URLまたは二次元コードにて5月20日より公開開始> <https://www.pocket-ban.com/>



## 木造住宅建築費指数の仕様：過去17年の木造戸建て住宅1棟当たりの建築費総額を指数化



- I. 指数内容：『積算資料ポケット版 住宅建築編』に掲載の資材等単価（当会調べ）から算出した新築木造住宅1棟の建築費用（本体工事費）を指数化し、各年の推移を時系列表示
- II. 調査段階：指数化した建築費用は工務店（元請）の諸経費を含んだ施主（注文者）への提示価格（左上図）
- III. 試算プラン：延床約30坪の総二階の試算プラン(左下図)を用いて断熱等性能等級4(省エネ基準)を満たす仕様で建築費を試算
- IV. 基準年：2009年=100
- V. 対象地区：東京近郊エリア

## 木造戸建て住宅建築費の動向把握の一助に

木造住宅建築費指数を公開する当会ホームページ『積算資料ポケット版WEB』では、指数の基礎データである「住宅1棟当たりの建築費用の総額」、及びその「内訳費目ごとの額」の経年推移もご確認いただけます。当会では、木造住宅建設に関わる全てのステークホルダーに向けて建築費の推移を可視化することで、住宅取引における透明性を向上させるとともに、関係各位の建築費動向の把握のご参考としていただき、住宅業界の発展と社会経済の活性化に貢献して参ります。本指数により新築木造住宅の経済価値やその時系列動向を把握いただくとともに、関係各位の住宅建設における総合的な価値判断の一助として是非ご活用ください。

お問い合わせ先：本資料の詳細や資料の入手をご希望の方は、下記までご連絡ください



一般財団法人 経済調査会 東京都港区新橋6丁目17番15号 菱進御成門ビル  
出版事業部 企画調査室 担当：武田 ☎ 03-5777-8221 ✉ [build\\_index@zai-keicho.or.jp](mailto:build_index@zai-keicho.or.jp)